

①実施体制

a 委員会の設置状況 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 FD・SD 委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等

2022 年度 FD・SD 委員会会議の開催状況

委員会	日時	審議事項
第 1 回教育開発 セクション会議 & FD・SD 委員会	2022 年 5 月 11 日 (教員 6 名、職員 5 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度 FD・SD における方針・実施計画について ・FD・SD 研修「障害のある学生の支援」(キャンパスライフ支援室)について ・e JINZAI for University の教職員動画研修について ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」への応募について ・国語基礎力調査の実施について ・その他「ディプロマ・サプリメントの進捗状況」について
第 2 回教育開発 セクション会議 & FD・SD 委員会	2022 年 6 月 22 日 (教員 7 名、職員 5 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・SD 研修「ハラスメント研修」について ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・令和 4 年度前期授業評価アンケートの実施について ・令和 4 年度 FD・SD 実施計画(短大)について ・令和 4 年度遠隔授業実施調査について ・SD 研修「本学の経営・財務状況及び財務計画について」について
第 3 回教育開発 セクション会議 & FD・SD 委員会	2022 年 7 月 20 日 (教員 5 名、職員 4 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・令和 4 年度ベストティーチャー賞の選考について ・FD・SD 研修「令和 4 年度 教職員・情報通信技術支援員(ICT 支援員)著作権講習会について」 ・FD 研修「令和 4 年度 外部資金獲得のためのセミナー「科研費助成事業説明会」(主催:宇都宮大学 URA/学術研究部)」について
第 4 回 FD・SD 委 員会 & 教育開発 セクション会議	2022 年 9 月 21 日 (教員 5 名、職員 4 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・ベストティーチャー賞受賞者による授業公開について ・前期授業評価アンケートの集計結果について ・SD 研修会「合理的配慮に関する研修案内」について
第 5 回 FD・SD 委 員会 & 教育開発 セクション会議	2022 年 10 月 19 日 (教員 6 名、職員 6 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・ベストティーチャー賞について ・前期授業評価アンケートの総評 ・合理的配慮に関する研修の開催について ・シラバス及び WEBCLASS についての研修について ・入学前教育について
第 6 回 FD・SD 委 員会 & 教育開発 セクション会議	2022 年 11 月 16 日 (教員 5 名、職員 5 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度予算について ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・ベストティーチャー賞について ・ディプロマ・サプリメントについて ・SD 研修(「合理的配慮に関する研修」)開催について ・シラバス及び WebClass についての研修について ・入学前教育について ・コンプライアンス研修の実施について

第7回 FD・SD 委員会&教育開発セクション会議	2022年12月21日 (教員6名、職員5名)	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度予算案について ・学生参加 FD について ・授業評価アンケートについて ・共通教育カリキュラムについて ・ベストティーチャー賞について ・ディプロマ・サプリメントについて ・シラバス及び WebClass についての研修について ・入学前教育について ・令和4年度 実施状況 ・ 令和5年度実施計画案
第8回 FD・SD 委員会&教育開発セクション会議	2023年1月25日 (教員6名、職員5名)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生参加 FD の実施について ・授業評価アンケートのフィードバック方法について ・教員振り返りアンケートの実施について ・共通教育カリキュラムについて ・ディプロマ・サプリメントについて ・今後の FD・SD 研修等の実施について ・入学前教育について ・令和5年度 FD・SD 実施計画案について
第9回教育開発セクション会議 & FD・SD 委員会	2023年3月15日 (教員6名、職員5名)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業評価アンケート結果および教員振り返りアンケートについて ・前期および後期授業評価アンケートの総括および全学的改善事項について ・教職 FD「ICT 活用」の実施について ・学生 FD「学生活動団体リーダー研修」 ・全学 SD「監査報告書」の実施について ・令和4年度 FD・SD の総括について ・令和5年度 FD・SD 実施計画(案)について ・共通教育カリキュラムの見直しについて ・令和4年度年報について ・短大学生 FDSD 研修

※公務出張等やむをえない場合を除き、全委員出席(オンライン参加有)

②実施状況

a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む)

2022年度FD及びSD研修 実施一覧

区分	日時	題名	概要	担当部署: 発表者	教員 参加者	職員 参加者	学生 参加者	実施方法
SD ①	2022年 4月6日	新任教員 研修	大学で活用されているシステム (Campus Plan ・ TECMIN ・ WebClass ・ Zoom ・ Office365) 及び ウイズコロナにおける授業での配 慮・本学学生の様子等 対象:新任教員(7名)	FD・SD委員 長 西谷健 次先生	7			●対面実施
SD ②	2022年 4月25日	新任教職 員研修	内容:学校法人船田教育会、管理 運営体制、就業規則、職場内ルー ルなど 対象:新任教職員(8名) (法人事務局主催)	法人事務局	7	2		●対面実施 研修に参加の 上、報告書を 作成すること。
SD ③	2022年 5月30日 ～ 2022年 6月3日	障害のある 学生の 支援につ いて「発 作への対 応」	「障害のある学生の支援について」 をテーマに、共通理解を図り、より 細やかな学生支援体制を確立す る。 発作への対応・てんかん・アナフィ ラキシーショック	杉原 聡子 講師	35	26		●録画による 研修動画配信 による実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
SD ④	2022年 6月8日 【追加】 2022年 6月20日 ～24日	ハラスメン ト研修 「アカデミ ックハラス メントを起 こさせない ために」	現在では、多くの大学でアカデミック ハラスメント対策が整備されるよう になってきた。 しかしながら、その対応は様々な壁 にぶつかっている。 本研修では解決に向けて具体的・ 実践的行動を考えるため、アカデミ ックハラスメントへの理解を深めて いただく。 e-JINZAI for university 研修動画	FD・SD委員 長 西谷健 次先生	44	3		●対面実施、 e-JINZAI for university 研修動画によ る実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること
SD ⑤	2022年 7月11日	ハラスメン ト研修 「～管理 職が覚えて おきたい 職場の ハラスメン ト～」	現在では、多くの大学でアカデミック ハラスメント対策が整備されるよう になってきた。 しかしながら、その対応は様々な壁 にぶつかっている。 本研修では解決に向けて具体的・ 実践的行動を考えるため、アカデミ ックハラスメントへの理解を深めて いただく。 e-JINZAI for university 研修動画	FD・SD委員 長 西谷健 次先生	2	46		●対面実施で の e-JINZAI for university 研修動画によ る実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること
FD ⑥	2022年 7月14日	科学研究 費等の競 争的資金 の確保に 関する説 明会	地域協働広報センター 外部資金 獲得委員会では、教員の皆様を主 対象として外部競争的資金の獲 得、科学研究費補助金の申請・採 択率アップに向けて、積極的に挑 戦していただきたく「大学コンソー シアムとちぎから案内のあった宇都 宮大学主催の科研費説明会(オン ライン開催)」に参加いただき、最 新の科研費制度を再確認して令和 4年度申請していただきますようご 案内いたします。今回は、文科省 の方から科研費の事業についてご 講演いただきます。	地域協働広 報センター-外 部資金獲得 委員会 大学コンソ ーシアムと ちぎ經由 宇 都宮大学主 催の科研費 説明会 宇都宮大学 URA / 学術 研究部	21	9	—	●zoom による オンライン研 修実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
SD ⑦	2022年 7月29日 ～ 2022年 8月4日	障害のある 学生の 支援につ いて「授 業内での 対応」	「障害のある学生の支援について」 をテーマに、共通理解を図り、より 細やかな学生支援体制を確立す る。 授業内での対応	杉原 聡子 講師	42	28		●録画による 研修動画配信 による実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
SD	2022年	本学の経	教職員にとって、大学の経営・財務	法人事務局	40	39		●対面実施

⑧	7月27日	営・財務状況及び財務計画について	状況を理解することは、本学の現状認識と振り返りが可能となり、今後の行動姿勢への指針となる。 本研修では、「決算説明」「経営改善計画の履行状況」の説明を行い、下記について教職員全員が共通理解することを目指している。					研修に参加の上アンケートに回答すること。
FDSD ⑨	2022年8月25日	教職員・情報通信技術支援員（ICT支援員）著作権講習会～教育機関における著作物利用と知財教育～	近年、SNS等のソーシャルメディアの発達・普及により、誰もが簡単に多様なコンテンツにアクセスできる便利な世の中になった反面、若年者による著作権侵害事例も生じている。平成30年には著作権法が改正され、「授業目的公衆送信補償金制度」の創設により、ICTを活用した教育の著作物等の利用円滑化が図られた。 本研修では文化庁著作権課による講習会を通して、「著作権の大切さ」の理解を深め、「知財教育」の推進を図るため、本学教職員が著作権に関する正しい知識を身につけることを目標とする。	FD・SD委員長 西谷健次先生 文化庁著作権課	27	15		●対面実施で、文化庁著作権課動画視聴 研修に参加の上アンケートに回答すること。
SD ⑩	2022年8月29日～9月9日 【追加】2022年9月10日～24日	教職員救命講習会～心肺蘇生（AED）、救命法検定等～	大学の教職員は、授業中に学生が倒れた現場に居合わせた時等、速やかに緊急対応を行うための事前の心構えや不測の対応力が必要である。 本研修では日本赤十字社による動画教材等により、知識を補完し、学生が安心して大学生生活を過ごせるよう、教職員の緊急時の対応力向上を目指すものとする。	キャンパスライフ支援室 保健室	48	34		●日本赤十字社 動画教材等の視聴による実施 研修に参加の上アンケートに回答すること。
外部 (FD/SD) ⑪	2022年9月6日	宇都宮市創造都市研究センター第7回FD・SD研修会実践コーポレート・ガバナンス～中堅中小企業の新たな発展のために～	宇都宮市創造都市研究センターは、宇都宮共和大学、作新学院大学、文星芸術大学、帝京大学の市内4私立大学が連携し、「創造都市宇都宮都市圏の形成」を目的に設立された組織である。 本研修は、実践コーポレート・ガバナンス～中堅中小企業の新たな発展のために～をテーマに、本学経営学部長前橋明朗教授が講演を行った。	本学経営学部長前橋明朗教授	21	7	18	●対面実施 研修に参加の上アンケートに回答すること。
SD ⑫	2022年10月11日～2022年10月17日	障害のある学生の支援について「ゼミ・実習・進路指導での対応例」	「障害のある学生の支援について」をテーマに、共通理解を図り、より細やかな学生支援体制を確立する。 「ゼミ・実習・進路指導での対応例」	杉原 聡子 講師	14	10		●録画による研修動画配信による実施 研修に参加の上アンケートに回答すること。
SD ⑬	2022年11月21日～2022年11月25日	コンプライアンス教育「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2	教職員にとって、コンプライアンス意識をもって職務にあたることは大学組織の「信頼」の根幹となる。また、大学の経営・財務状況を理解することは、本学の現状認識と振り返りが可能となり、今後の行動姿勢への指針となる。 本研修では、令和3年2月に改正を行った「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に関して、令和3年度	法人事務局	51	18		●対面実施 研修に参加の上アンケートに回答すること。 研究者向け誓約書提出

		月 15 日 (令和 3 年 2 月 1 日 改正) 文 部科学大 臣 決 定) へ の 対 応) に つ いて	からの運用開始にあたり、改正点 及び運用上の注意事項等につ いて適正な公的研究費の管理の徹 底することの必要性を目的として いる。					
FD ⑭	2022 年 12 月 9 日～12 月 16 日	ベスト ティー チャー 賞受賞 者によ る公開 授業に ついて	ベストティーチャー賞は、学生による 授業評価アンケート結果に基づ き、毎年度各学部 1 名選出される 制度である。ベストティーチャー賞 受賞者の授業方法や教授法等を 公開することは、本学授業実践の 改善の一助になり得、FD 意識の 更なる向上に資するものと思われ る。 本研修では、実際に自らの授業を 公開し、授業の視聴者からの振り 返りを通して、個々の教員が相互 に授業改善のきっかけを得るこ とを目的として実施する。	大学教育セ ンター FD・SD委 員会	20	20		●録画による 研修動画配信 による実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
SD ⑮	2022 年 7 月 29 日～ 2022 年 8 月 4 日	障害のある 学生の 支援につ いて合 理的配慮 一未診断 や障害を 開示しな い学生の 対応を含 めて一	「障害のある学生の支援について」 をテーマに、共通理解を図り、より 細やかな学生支援体制を確立す る。 合理的配慮一未診断や障害を開 示しない学生の対応を含めて一	筑波大学人 間系障害科 学域 准教授 佐々木 銀 河 先生	45	40		●対面・リアル タイム zoom 配信実施及び 録画による研 修動画配信に よる実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
学生 FD・SD ⑯	2022 年 1 月 26 日	令和 4 年 度「作新 学院大学 学生 FD・ SD 自分 の大学 (学び舎) について 考えよう」 について	学生 FD や本学の教育について理 解を深めるとともに、FD・SD活動 に学生の声を反映させながら本学 全体の教育力の向上を目指すべ く、学生・教員・職員が一堂に会し て気軽な雰囲気の中で語り合う 「作新学院大学 学生 FD・SD～自 分の大学(学び舎)について考えよ う～」を開催する。	FD・SD 委員 会 メインファ シリター: FD・SD委 員長 西谷 健次先生 各グルー プのファ シリター: FD・SD委 員 荒木 宏先生、今 宿 裕先生 (経営学 部)、高柳 秀史先生 (人間文化 学部)	4	3	12	●対面実施 研修に参加 の上アンケ ートに回答 すること。
課内 SD ⑰	2023 年 2 月 1 日	図書館防 災訓練	災害時の緊急対応を確実に出来る ようになるため災害が起こっても慌 てず速やかに自分や人の命を守る ために行動し、災害で起こる被害 を最小限に抑えることを目的に している。そのため、災害が起こった時 のことを想定し、「どのように行動 するべきか?」「疾病者をどう保護 するか」などをあらかじめ想定する ことを目指し、本研修を実施する。	図書情報課 井口 桂一		8		●対面実施 研修に参加 の上、事後の課 内ミーティ ングを実施 し、研修内 容を共有す る。

FDSD ⑩	2023年 2月1日～ 2月16日	令和5年 度シラバ ス作成方 法留意事 項につい て	中央教育審議会(「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」2012年3月)は、「授業計画(シラバス)は、単なる講義概要(コースカタログ)にとどまることなく、授業のための事前準備や事後の展開などの指針、他の授業科目との関連性の記述を含み、授業の工程表として機能するよう作成されていること」とし、シラバスの充実を各大学に求めている。またこれに加えて、学士力等の資質・能力の育成、能動的な学び(アクティブ・ラーニング)の推進、単位と学修時間の確認等に対する改善についても求めている。本研修では、令和5年度のシラバス作成方法留意事項について説明していく。	大学教育センター長 高橋 秀行 先生	29	31	●録画による研修動画配信による実施 研修に参加の上アンケートに回答すること。
SD ⑨	2023年 2月9日～ 2月22日	令和5年 度育児休 業制度啓 発研修 (介護休 業法も含 む)	令和3年6月、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律が公布され、令和5年4月までにその内容が施行される。改定趣旨は「出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児等を両立できるようにするための子の出生直後の時期における柔軟な育児休業の枠組みの創設、育児休業を取得しやすい雇用環境整備及び労働者に対する個別の周知・意向確認の措置の義務付け育児休業給付に 関する所要の規定の整備等の措置を講ずる」と示されている。この改定を受け 本学では、「学校法人船田教育会 育児休業規則」を令和4年4月1日と同年10月1日から段階的に施行、また、「学校法人船田教育会 介護休業規則」を令和4年4月1日から施行している。 本研修は、それぞれの規則の変更点及び制度の周知を目的として実施する。	法人事務局	11(内 非常 勤講 師4)	2	●YouTube 動画配信による実施(厚生労働省)「知っておきたい育児・介護休業法」研修に参加の上アンケートに回答すること。
外部 (FD/SD) ⑳	2023年 2月20日	第8回FD・SD研修会「DX時代における大学の人材育成について」	宇都宮市創造都市研究センターは、市内4私立大学(宇都宮共和国、作新学院大学、帝京大学宇都宮キャンパス、文星芸術大学)が連携し、「創造都市宇都宮市圏の形成」を目的に設立された組織。その取り組みの一環として、参加大学教員・職員を対象としたFD・SD研修会を開催。 本研修会は、「DX時代における大学の人材育成について」を、形成参加大学その他大学等とともに考えることが目的。	講師 田中 誠一(たなか せいいち)先生 文星芸術大学特任教授	22	17	●対面実施、Zoomによるリアルタイム配信による実施 研修に参加の上アンケートに回答すること。

SD ㉑	2023年 2月22日	大学設置 基準等の 改正に対 する本学 としての 対応	大学設置基準(令和4年10月 施行)が改正され、「学修者本意の 大学教育の実現」の方向性が強く 打ち出された。この改正に伴い、学 内規程の整備など、大学として否 が応でも取り組まなければならない ことがあると同時に、新たな教育 的な取り組みの可能性も開かれた ことについての情報共有を行う。	大学教育セ ンター西谷 健次先生	56	25		●対面実施、 及び録画配信 による実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
教職 FD ㉒	2023年 3月9日～1 7日	小・中学 校の GIGA ス クール構 想の概要 と学生の 情報活用 能力の育 成	小・中学校で GIGA スクール環境 整備がほぼ完了した今、第一に求 められているのは学校教員の IT リテラシーの問題だと言える。本学 としても教員を目指す学生たちの IT リテラシーをこれまで以上に高 めていく必要があるとともに、その ためにも大学教員自身の ICT 活 用スキルの向上を図る必要がある。	講師 人間 文化学部特 任教授 高 山裕一先生	14	1		●録画配信に よる実施 研修に参加の 上アンケートに 回答すること。
短大 SD	2022年 6月15日	本学の就 職支援に ついて	【キーワード】 就職支援、適性、学生の意欲 【ねらい】 本学は9割近くの学生が幼稚園教 諭2種免許と保育士資格を取得す る。その中で、学生の保育者に対 する適性の不一致や他の就職希 望をする学生も散見される。就職 支援における教学側と事務局の支 援体制を確認し、学生の就職支援 の充実化を図る。		8	1		●対面実施
短大 SD	2022年 8月3日	第三者評 価に向け て～評価 書作成及 びエビデ ンス準備 ～	【キーワード】 第三者評価、エビデンス資料 【ねらい】 第三者評価の評価項目等を整理 し、次年度の受審に備える。		8	2		●対面実施
短大 SD	2022年 8月24日	履修カル テ運用方 法につい て	【キーワード】 Webclass 就職活動状況 【ねらい】 今後、学修ポートフォリオとして運 用していくにあたり、履修カルテ内 容を変更していく必要がある。ま た、就職活動状況のチェックをカル テ内に含むことを検討する。		8	1		●対面実施
短大 SD	2022年 9月15日	科研費申 請につい て	【キーワード】 科学研究費、ピア・レビュー、外部 競争的資金 【ねらい】 本学の研究活動推進に向けて、個 人および幼児教育科の科学研究 費申請予定者のピア・レビューを行 い、採択率の増加を目指す。		8	1		●対面実施

短大SD	2023年 2月15日	第三者評価に向けて	【キーワード】 第三者評価、自己評価 【ねらい】 7月に実施した整理状況の確認および令和5年度の第三者評価に向けた体制整備を行い、第三者評価を迎えられるようにする。	8	1		●対面実施
短大学生FDSD	2023年 3月8日	第三者評価に向けて	【キーワード】 2年間の振り返り、学生生活、後輩に伝えたいこと 【ねらい】 学生FDや本学の教育について理解を深めるとともに、学生の声を反映させながら本学全体の教育力の向上を目指すべく、「作新学院大学女子短期大学部 学生FD・SD～自分の「学び舎」について考えよう～」を開催する。	5	1	5	●対面実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生による「授業評価アンケート」の教員個人データ公開による意識向上
- ・「授業評価アンケート」結果による「ベストティーチャー賞」の選出・表彰
- ・ベストティーチャー賞受賞者の「公開授業」実施による教員の授業改善

③学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケート

実施期間	事業名	概要
2022年7月19日～7月29日	2022年度前期	WebClassによるアンケート方式 設問数 18問 集計及び印刷は本学にて実施
2023年1月6日～22日	2022年度後期	WebClassによるアンケート方式 設問数 18問 集計及び印刷は本学にて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生による「授業評価アンケート」の集計結果を学生に開示
- …ファイルを図書館及び情報センター、教務課カウンターへ設置し、自由閲覧とする。
- …学内情報サービス(TECMIN)に公開。
- ・全体集計結果を大学ホームページへ掲載